

令和3年1月25日審議

1

申請者	脳神経内科医師	寺田 達弘
2020-26		未発症/発症超早期の家族性(遺伝性)プリオン病の臨床調査研究
研究の概要	家族性プリオン病の早期診断基準の作成に必要なエビデンス構築のために、遺伝性プリオン病の発症を待たず発症リスクの保有を把握できる遺伝性プリオン病(遺伝性CJD、家族性致死性不眠症(FFI)、ゲルスマン・ストロイスラー・シャインカー病(Gerstmann-Sträussler-Scheinker: GSS))に着目し、発症前または発症超早期の遺伝性プリオン病の発症リスク保有者の把握及びその未発症の症例の画像検査及び生体材料を採取し、リスク保有者の発症に至る経緯を解明し、早期診断基準の有効性を検証する。	
判定	承認	本申請は承認された。